

法人（事業所）理念		乳幼児から高齢者までの障がいのある人が共に社会の一員として可能な限り、充実した普通の生活を送ることが出来るように、共に支えあう心'共助の精神'を大切にします。									
支援方針		1、利用時の意思及び人格を尊重し、適切な支援を提供することを目的とする。 動作及び知識機能を習得し、並びに集団生活に適応することができるよう、お子様の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、適切かつ									
営業時間		9	時	0	分から	17	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり
支援内容											
本人支援	健康・生活	・着替えや歯磨き、トイレトレーニングなど基本的な生活習慣の確立を目指し、自ら取り組むことができるように声掛け、絵カードを用いて支援します。 通し、交通ルールや危険を避けるための基本的な安全知識の習得を身に付けることができるように支援します。									
	運動・感覚	・個々の発達段階に応じて運動スキルや身体的な成長をサポートし、手足を使った運動やバランス感覚の養成、体力の向上を目指します。 を十分に活用できるように活動や遊びを通して支援します。									
	認知・行動	・ゲーム遊びやパズル等を用いて記憶力、問題解決能力、集中力など認知能力を高めるためのアプローチを提供します。 ・先生や友達のかかわりの中でルールを伝え、社会性や適切な行動を身に付けることができるように支援します。									
	言語 コミュニケーション	・具体的な物事や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促すように支援します。 ・相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど言語を受容し表出する支援を行います。 ・指差し、身振り、サイン等を用いて、環境の理解と意思の伝達ができるように支援します。									
	人間関係社会性	・集団に参加するための手順やルール、きまりごとを理解し、遊びや集団生活に参加できるように支援します。 ・個々の行動の特徴を理解し気持ちや情動の調整ができるように支援します。 ・並行遊び、職員が介入して行う連合的な遊び、役割分担やルールを守って遊ぶ協同遊びを通して社会性を身に付けることができるように支援します。									
家族支援		・お子様に関する情報の提供と定期的な支援調整、困り感等課題を聞き取り必要な助言を行います。 ・お子様の発達上の課題についての気付きやアドバイス等を行います。				移行支援		併用先（幼稚園・保育園）と連携して支援を行います。			
地域支援・地域連携		併用先（幼稚園、保育園）との連絡会を年に2回実施し、就学前には小学校へ情報を提供しスムーズな就学へと繋がります。				職員の質の向上		月に1回の勉強会、研修会等を実施します。			
主な行事等		毎月1回誕生会、生活体験、遠足、運動会、夏祭り、夕涼み会、発表会、クリスマス会、風揚げ大会、節分、ひな祭り会、卒園を祝う会、ひとつ大きくなっ									

(別添資料1)

作成日 令和6年9月26日

神”をモットーに身体・精神の両面から一視同仁の援助を行ってまい
2、利用児が日常生活における基本 効果的な指導及び訓練を行います。
なし
・生活体験や園外活動を
・視覚、聴覚、触覚等の感覚
育園)との情報交換、就学先への情報提供を行い統一した支援を行う ます。また、ご家族への情報提供も行います。
ゞ子様の情報共有を日々行っております。
た会、家族会